

秋の山王海ダム

— 岩手県紫波郡紫波町 —

東急建設(株) 佐藤 健

1. はじめに

表紙写真は、昨年の初秋、山王海ダムの下流にある志和稲荷神社に車を止め、ダムまで30分程度歩き、久しぶりに山王海ダムに再会した時に撮影したものです。ダムが少し黒ずみ周囲の風景に溶け込み、完成してから20年近くの月日が経ったことを感じました。

山王海ダムと私の関係は、土木技術者である私がダムの建設工事に初めて携わったダムです。約30年前から7年間、建設工事に従事したため深い思い出があります。20代最後の夏、この地に赴任した私は、ダム工事の初期段階となる河川を流れる水を切りまわすための仮排水トンネルの工事に携わりました。この時、トンネル工事初めての経験であったため、今考えると笑ってしまいますが、吹付けコンクリートが施工され、まだ覆工コンクリートがされていない工事中のトンネルに初めて入り、トンネル内の薄暗さからくる圧迫感と知識のなさから、今にもトンネルの壁が崩れてくるのではないかと不安になったことを思い出します。その後、ダムを造る場所の不良な土を除く堤体掘削やダムの本体を造る堤体盛立、洪水時にダムを守る洪水吐という巨大な水路を造る工事、また、ダムの基礎を固め、水を通りにくくする基礎処理工事などに従事し、あっという間に7年が過ぎ、完成の1年前に次の赴任地の宮崎県に転勤しました。

2. 山王海ダムの歴史と特徴

現在では、県内有数の米どころとなっている岩手県の内陸地方、奥羽山脈と北上山地に挟まれた盛岡市南部の紫波町、矢巾町、旧石鳥谷町にかけての地域が山王海ダムの受益地です。この地は、広大な田畑に比べて降雨が少ないため、ダムが建設されるまでは少ない水をめぐって、かつては人が亡くなるほどの激しい争いごとがおこったといわれています。

このため、戦後、農林省により山王海ダムが建設されて、この地の水不足が大きく改善され、これを記念して、山王海ダムの下流には、巨大な「平安」、「山王海」、「1952」の文字が低木の植木により記されました。ところで、もう一度、表紙写真を見ていただけないで

しょうか。「1952」でなく、「2001」となっています。これは、現在、山王海ダムといわれているダムは、実際には(新)山王海ダムで、元々この地には、約70年前の1952年に完成した(旧)山王海ダムがありました。その時のダムは現在より20m低いダムでしたが、当時としては東洋一の農業用アースダムだったそうです。山王海ダム堤体標準断面図(図-1)と同時に建設中の山王海ダム(写真-1)を見ていただくとわかりやすいですが、(新)山王海ダムの上流に、「平安」の文字だけが残る(旧)山王海ダムの上部を見ることができます。

その後、高度経済成長期を経て、水利用形態の変化や水需要の増加などのため、農林水産省により、国営かんがい排水事業「山王海(二期)農業水利事業」が計画、実施され(新)山王海ダムが建設されました。表-1に、新旧の山王海ダムなどの貯水効率を記します。この表を見ると、近年建設された近傍の同規模のダム(例として、荒砥沢ダム、相川ダム)と比較して、(旧)山王海ダムの貯水効率(貯水容量/堤体積)の良さがわかると同時に、(新)山王海ダムもその考え方を引き継ぎ、技術的に困難なフィルダムの^{かさ}嵩上げ工事を行いつつも、これが生かされていることがわかります。調査、計画をされた方々のご苦労がしのばれる数値であるといえます。新旧どちらのダムも、農業用水専用のダムとしては、わが国屈指の規模であると同時に、特に(新)山王海ダムは、現在でも珍しい嵩上げたロックフィルダムとなっています。また、山王海ダムは、同時期に尾根を隔てた葛丸川に建設された葛丸ダムと用水のやり取りを行う親子ダムの特徴を持ちます。近年では、ダムの嵩上げ、再開発やダムの連携運用は珍しくありませんが、当時としては、先進的な取組みだと思われれます。

3. おわりに

最後に山王海ダム建設時の思い出をもう一つ。志和稲荷神社と山王海ダムの中間地点の駐車場の横にひっそりと慰霊碑(写真-2)が建っています。私は、工事中に毎日その場所を通りましたが、特に気にすること

(新) 山王海ダム

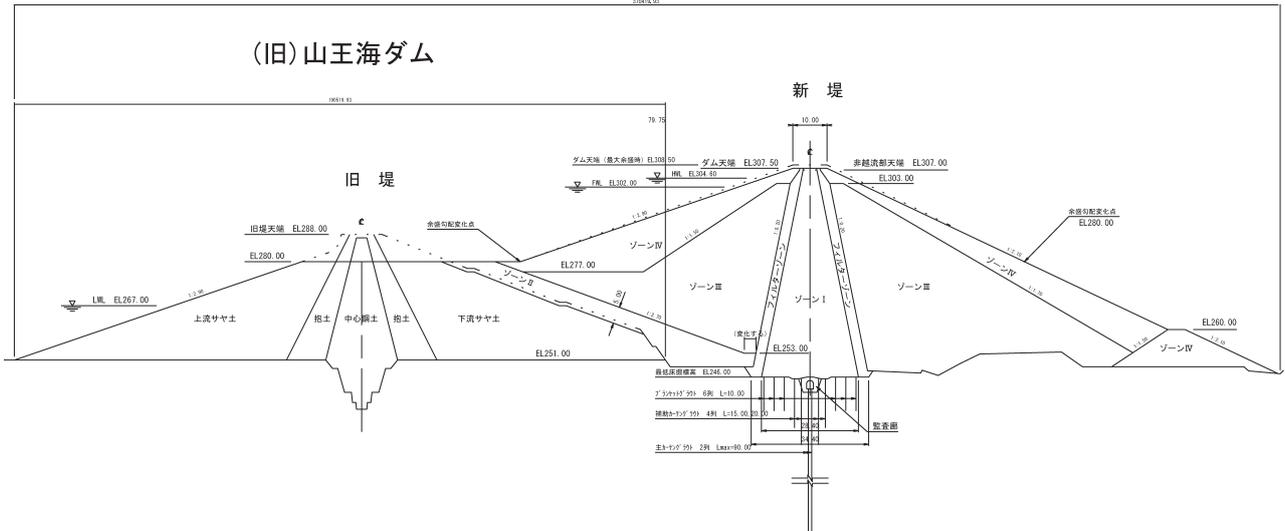


図-1 新旧の山王海ダム堤体標準断面図

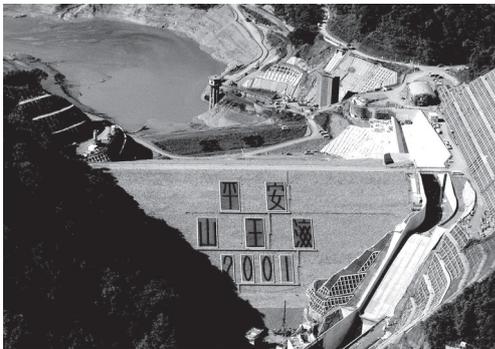


写真-1 建設中の山王海ダム

表-1 山王海ダムなどの貯水効率

	(旧) 山王海ダム	(新) 山王海ダム	荒砥沢ダム	相川ダム
完成年度	1952 年度	2001 年度	1998 年度	1998 年度
ダムの形式	アースダム	ロック フィルダム	ロック フィルダム	ロック フィルダム
ダムの高さ	37.4 m	61.5 m	74.5 m	40.3 m
貯水容量 (a)	960 万 m ³	3,840 万 m ³	1,410 万 m ³	177 万 m ³
堤体積 (b)	28 万 m ³	105 万 m ³	305 万 m ³	34 万 m ³
貯水効率 (a/b)	34.2	36.6	4.6	5.2



写真-2 慰霊碑

はありませんでした。しかしある日、その場所に数名の方が佇んでいました。気になって声をかけてみると、その慰霊碑は、その中にいた中年の女性のご主人であり、その娘さんのお父さんの慰霊碑だということでした。結婚したばかりのご主人が山王海ダムの調査中に崖から転落して亡くなったということ。当時、奥さんのお腹にはお子さんがおり、その子が二十歳になった報告のため、この慰霊碑にお参りに来たということでした。その時、私はそんな映画やドラマのようなことが実際にあるんだと驚き、工事事務所に案内してお話を伺ったことを覚えています。

私は、その後どの現場に行っても「安全第一」、「工事で一番大切なことは人の命」、「どんなにいいものを造っても、人命を失ってはいけない」と心に刻んでいますが、そのきっかけになったのがこの出来事です。

ダムを管理している山王海土地改良区のホームページ¹⁾を見ると、山王海ダムでは、年に1回の一般公開や地元のNPO法人と協賛しての「湖と森のふれあい研修」などの各種イベントを実施されているようで

す。このように山王海ダムが地域に溶け込んだ農業水利施設になっているのは、建設工事に携わった一人として、とてもうれしい限りです。

参 考 文 献

- 1) 山王海土地改良区 : <http://sannoukai.jp/> (参照 2019 年 9 月 1 日)
- 2) 東北農政局山王海鹿妻農業水利事業所 : 山王海ダム技術誌 (2002)
- 3) 農林水産省農村振興局整備部設計課 : 国営造成農業用ダム便覧 (2009)